

架け橋プログラム



幼保こ園

- ① 子どもたちが遊びや生活の中で、夢中になっている姿や場面を（ ）色のふせんに書き出します。

- ② ①の姿はどのような環境や保育者の援助によって見られたのか、思いつくことを（ ）色のふせんに書き出します。

はなしあいシート

Step1

話し合いのゴール

対話を通して、
お互いのことを知ろう！

<話し合いのすすめ方> (例)

- * 1グループ4～6人が適当ですが、参加者の状況に合わせて調整してください。
- * 進行役を一人決めると進めやすいです。

<用意するもの>

ふせん(7.5×7.5cm程度のもので2色)、4つ切り2枚分位の模造紙、筆記用具(各自ボールペンなどがよい)、カラーペン(模造紙記入に使用)

手順1 ①②について、それぞれの先生方が日頃の子どもの姿を思い浮かべ、思いついたことをふせんに書いてください。(一人2、3事項)
※ふせん1枚には、一つの事項だけ書きます。

手順2 ふせんに書いたことについて、簡単に説明しながら、模造紙に貼っていきます。

手順3 模造紙にはったふせんを、「同じ」カテゴリーでグループ分けします。共通点や、相違点などが見えてきましたか。
気が付いたことや聞いてみたいことは、その都度声に出しましょう。

手順4 最後に、今日の話し合いを振り返り、シートに感想を書きます。時間があったら、お互いに感想を見せ合ってもいいですね。

小学校



- ① 子どもたちが授業や生活の中で、夢中になっている姿や場面を（ ）色のふせんに書き出します。

- ② ①の姿はどのような環境や教師の支援によって見られたのか、思いつくことを（ ）色のふせんに書き出します。

【話し合いを振り返って、感じたこと】